

## 最近の韓国・中国・台湾経済情勢について

朝夕に 雫のふとる このめ哉 加賀千代女

三月になりました。

いよいよ、卒業式を経て春を迎えるための月となりました。

今月の後半からは桜も咲き始めることであらうでしょう。

そんな三月の初め、春の予感を感じさせる木の芽も膨らみ始め、その成長は、見ていて、私たちが温かい気持ちにしてくれます。

落ちる雫も温かみを帯び、柔らかく太くなっているように感じられますね。

### **[今週のチェック・ワード]**

**[日本のものづくりとアジアについて]**

私は、

「日本はものづくり大国として、世界に必要なものやサービスを適正価格で供給、提供し、世界に必要とされながら、粛々と拡大していくべき国である。」

と考えています。

そして、

☆ 高度の核心部品

☆ 高度の製造装置

☆ 高度の新素材開発

などで特に強みを発揮すべきであり、また、

☆ メンテナンスサービス

のビジネスにも注力すべきであるとも考えています。

そして、こうしたことを具現化する一つのポイントとして、

「技術の高度化の徹底追求」

が日本企業には必要かと思えます。

更に、技術の裾野を広げることを意識して、

「技術力の高い分野に関連のある分野での技術力強化、多角化」

を技術開発を軸にして進めていくべきであり、

「こうした変化を起こしていくことを、当然かつ健全なものとして認識し、果敢な技術開発を推進していくべきではないか。」

と考えています。

そして、この段階で、日本の製造業が、成長著しい韓国や台湾、中国本土の企業よりも大きく勝っている強みは、「経験」であり、明治時代、他のアジア諸国よりも早く開始した先進工業化の中で培った、失敗と成功と言う試行錯誤の経験をフルに活用し、「更なる高度技術」「新たな技術」の開発を進めていくべきであろうと思えます。

そして、もしも、日銀副総裁の言うように、「財政出動を伴う景気対策」を本当に実施することを前提とするのであれば、日本政府は、こうした実効性の高い、实体经济に資する動きに挑戦する日本企業のこうした、「果敢な挑戦」を後押しする為の資金支援をしていくべきではないかと思

ます。

そして、アジア諸国の製造業との格差をより確実にしていく為にも、日本は産官学金融連携によるものづくり大国強化に邁進すべきであると私は確信しております。

## 【台湾・中国・その他】

—今週の台湾・中国—

[台湾]

台湾の蔡総統は、台湾政府・行政院の外交部長や国防部長など閣僚5人の交代を伴う内閣改造を行った。

即ち、民進党・蔡英文政権は本年5月に発足2周年を迎えるのを前に主要閣僚を刷新し、現在、低迷している支持率の回復を狙ったものと見られる。

今後の動向をフォローしたい。

[中国]

米国のペンス副大統領は、

「保守政治活動会議（CPAC）」

の年次総会で演説し、北朝鮮の金正恩・朝鮮労働党委員長の妹である金与正氏について、

「地球上、もっとも残虐で抑圧的な政権の中心人物である。」

との主旨のコメントを行っている。

南北融和に進むかもしれない韓国、そしてこれをサポートするかもしれない中国本土やロシアも意識した米国政府の見解とも見て取れる。

米国政府は、「北朝鮮の核開発とミサイル開発の阻止」には必死に対応する姿勢を示しており、特に北朝鮮が開発するかもしれない小型化された核兵器がテロ組織に引き渡されていくことも警戒しているものと見られる。

今後の中国本土の対応も注視したい。

—今週のニュース項目（見出し）—

1. 中印関係について
2. 中国本土、安邦保険の経営について
3. 中国本土、中国海洋石油について
4. 中国本土、政治情勢について
5. 中国本土、不正腐敗について
6. 中国本土、原子力空母建造計画について
7. 米中関係について

—今週のニュース—

1. 中印関係について

中国本土の人民解放軍がインドと国境を接する西部戦区の航空戦力を増強しているとの見方が強まっている。

国境問題をめぐり対峙を続けていた中印両部隊は、昨年8月に撤退で合意したが、その後も中国本土軍側は紛争地に近い空港に戦闘機を重点配備し、新たな滑走路まで建設するなど軍事拠点化を

進めていることが緊張感拡大の背景である。

今後の動向をフォローしたい。

## 2. 中国本土、安邦保険経営について

中国本土・保険監督管理委員会は、中国本土の保険大手である安邦保険集団を1年間、中国本土・中央政府の管理下に置くと発表した。

会長兼社長だった呉氏が詐欺などで起訴されたことを受けて、中央政府主導で経営の安定化と消費者保護を図ることにした模様である。

また、不正腐敗に対する厳正なる対応姿勢を示したものとも言えよう。

今後の動向をフォローしたい。

## 3. 中国本土、中国海洋石油について

中国本土の中核企業の一つである中国海洋石油集団（中国海油、CNOOC）の楊華董事長は、「中国海油は積極的に環境に配慮した経営に取り組んでおり、天然ガス産業の開拓を通して、より環境に優しいエネルギーを提供してきた。これまでの科学技術の蓄積を通し、クリーンで安全、かつ信頼できるエネルギー供給の保証に努めたい。」

とコメントしている。

今後の動向をフォローしたい。

## 4. 中国本土、政治情勢について

中国本土の中国共産党中央委員会は、「2期10年」と中国本土の憲法が定める国家主席と国家副主席の任期について、この規定を削除する憲法改正案を、3月5日開幕する全国人民代表大会に提案することを示唆している。

習近平長期政権の可能性を示唆する動きである。

今後の動向をフォローしたい。

## 5. 中国本土、不正腐敗について

中国本土の中国共産党の習近平指導部は、本年1月下旬から始めたマフィアなど犯罪集団の取り締まり作戦「掃黒除恶（悪を取り除くという意味）」を開始し、これに伴い、各地方政府が一斉に摘発、効果を挙げ始めているとの見方が出ている。

不正腐敗対策として注目されているが、一方では、権力闘争の中で政敵が摘発されているとの見方もある。

今後の動向をフォローしたい。

## 6. 中国本土、原子力空母建造計画について

中国本土の国有造船大手企業である「中国船舶重工集団（中船重工）」は、今後の建造計画や目標などを示す「発展戦略綱要」を発表しているが、この中に、原子力空母の開発計画が含まれている。

中国本土で原子力空母の開発計画がこうした形で公になるのは初めてとなる。

インド洋や太平洋などで制海権を握る米国への対抗として、中国本土は、遠洋での作戦能力向上を図る方針である。

今後の動向をフォローしたい。

## 7. 米中関係について

米国のトランプ政権は中間選挙を意識してなどを背景にして、保護主義的動きを改めて強化していると思われる。

そして、鉄鋼とアルミニウムの輸入制限は、安全保障や経済面で影響力を増大させている中国本土を最も意識したものとも見られ、また、これは韓国にも影響を及ぼす。

そして、少し穿った見方をすれば、トランプ政権は2年目に入り、米国中心の世界秩序に挑戦するかのように「A I I Bと一帯一路構想」のセット政策を推進、宇宙開発を軸とした軍事開発を拡大している中国本土に対して強硬姿勢で臨む方針に転換しているとも見られる。

今後の動向をフォローしたい。

## 〔 卓 章 国 〕

—今週の韓国—

韓国政府・統計庁の家計動向調査によると、昨年10～12月期の家計の実質所得が9四半期ぶりに増加に転じたものの、可処分所得は6四半期連続で減少し、家計の体感景気が益々悪化しているとの主旨の報告がなされている。

即ち、昨年10～12月期の月平均名目世帯所得は444万5,156ウォンで、前年同期の431万2,029ウォンに比べて3.1%増加している。

また、物価上昇を考慮した実質ベースでは431万3,591ウォンで、前年同期の424万6,631ウォンよりも1.6%増加している。

実質世帯収入が増加したのは、2015年7～9月期以来9四半期ぶりとなる。

一方、所得水準別に見ると、下位20%の実質所得が10.2%増加したことは特筆されよう。

これについては、キム経済副首相が、

「追加補正予算で一部の弱者層や生活困難層を支援した所得主導成長が一定の影響を与えた。」との政策効果が背景となっているとの見方を示している。

今後の動向をフォローしたい。

—今週のニュース項目（見出し）—

1. 訪韓外国人数について
2. 米韓関係について
3. 米韓通商問題について
4. 南北関係について
5. 仁川空港、航空貨物取扱量について
6. 朴前大統領問題について
7. 2月の貿易動向について
8. 中小企業銀行向けコミットメントラインについて
9. 中韓関係について
10. 日韓関係について
11. 化粧品輸出について

### 1. 訪韓外国人人数について

韓国観光公社が発表した統計によると、本年1月に韓国を訪れた外国人観光客は95万6,036人で、前年同月対比21.7%減少している。

中国本土をはじめ中華圏の観光客の減少が響いている。

中国人観光客は46.0%減の30万5,127人となっている。

また、香港（同37.6%減）、フィリピン（同17.6%減）、インドネシア（同12.7%減）からの観光客も減少している。

一方、日本人観光客は16万7,083人で7.9%増、台湾人観光客は7万5,820人で8.9%増となり、欧米からの観光客も0.8%増加している。

尚、先月海外に出掛けた韓国人は286万6,780人で22.4%増えている。

今後の動向をフォローしたい。

### 2. 米韓関係について

米国のホワイトハウスは、トランプ大統領の長女であるイバンカ大統領補佐官を訪韓させ、平昌五輪の閉会式に米政府代表団のトップとして出席させた。

トランプ大統領は訪韓しなかったが、米国の韓国に対する一種の圧力、牽制とも見て取れる。

また、米国の国防総省のマニング報道部長は、本年4月に予定される米韓合同軍事演習について、開始時期や規模は決まっておらず、今後、米韓両国で調整されるとの認識を示している。

一方、韓国の文大統領は、米国のトランプ大統領に電話会談を申し入れ、北朝鮮問題などについて、

「韓国としては、平昌冬季五輪の機会に金正恩朝鮮労働党委員長の特使として訪韓した金与正氏に対応する形で、早晩、特使を訪朝させる考えである。」

と伝えている。

米国が最終的にいかなる反応を示すのか注視したい。

また、韓国政府の米国に対する対応も注視したい。

### 3. 米韓通商問題について

米国は2013年2月に韓国の三星電子とLG電子が韓国で生産して輸出した洗濯機にそれぞれ9.29%、13.2%の反ダンピング関税、相殺関税をかけた。

韓国政府はその6カ月後、関税適用は不当であるとして、世界貿易機関（WTO）に提訴し、2016年9月に勝訴した。

しかし、この3年間で韓国側は少なくとも数千億ウォンの被害を受けたと推定されている。

WTOを通じて被害の補償を受ける方法はない。

米国は関税を引き下げるよう求めるWTOのこの決定にも未だに従っていない。

更に、米国は今年に入り、セーフガード（緊急輸入制限）に踏み切り、三星電子やLG電子の洗濯機に最高で50%の関税を掛けると表明した。

この時期に、こうした韓国を対象とした通商圧力を掛けるのは政治的背景があるといった見方も出来る。

今後の動向をフォローしたい。

#### 4. 南北関係について

韓国の文在寅大統領は、平昌冬季五輪の閉会式に合わせて韓国入りした北朝鮮の金英哲朝鮮労働党副委員長と、五輪開催地の平昌で会談している。

そして、この際に北朝鮮側は、「米朝対話を行う十分な用意がある。」

との考えを韓国に表明したと見られている。

また、南北双方は、南北関係と米朝関係が共に発展すべきであるとの考えで一致している。

今後の動向をフォローしたい。

#### 5. 仁川空港、航空貨物取扱量について

韓国の仁川国際空港の航空貨物取扱量が2001年3月の開港から累計4,000万トンを突破したと仁川国際空港公社が発表している。

また、昨年はその伸びを回復している。

今後の動向をフォローしたい。

#### 6. 朴前大統領問題について

韓国前大統領である朴被告と韓国の財閥グループを巡る贈収賄事件の論告求刑公判がソウル中央地裁で開かれた。

そして、検察は朴被告に懲役30年、罰金1185億ウォンを求刑した。

ソウル中央地裁は本年4月6日午後に朴被告に判決を言い渡す予定である。

今後の動向をフォローしたい。

#### 7. 2月の貿易動向について

韓国政府・産業通商資源部が発表した本年2月の輸出額（通関ベース、速報値）は前年同月対比4.0%増の448億8,000万米ドルとなり、16カ月連続で増加している。

また、輸入額は415億7,000万米ドルで、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は33億1,000万ドルの黒字となり、通関ベース貿易収支の黒字は73カ月連続となっている。

今後の動向をフォローしたい。

#### 8. 中小企業銀行向けコミットメントラインについて

韓国の主要金融機関である中小企業銀行（IBK）は、日本の三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行と計4,000億ウォンのウォン・円コミットメントライン契約を締結したと発表している。

このコミットメントラインは、当該金融機関の間で予め設定した期間と融資枠の範囲で緊急時の融資を約束するもので、緊急時には間違いなく効果があろう。

今後の効果を見守りたい。

#### 9. 中韓関係について

中国本土海軍艦艇が昨年、黄海で中韓両国の排他的経済水域（EEZ）の中間線を80回以上越えて韓国側に入っていたと韓国政府は発表している。

中国本土軍艦の越境回数は2016年に比べて約8倍増えているとも韓国側はコメントしている。

尚、黄海中間線は中韓両国が合意した海洋境界線ではないが、国際慣例に基づいて韓国政府が境界線としている。

こうした動きを見て筆者が感じることは、韓国は中国本土の動きを本当に信用して良いのか？相対的には日本を信用した方が良いのではないかと、言う点である。

如何であろうか？

## 10. 日韓関係について

韓国の文在寅大統領は、独立運動の記念式典での演説で、日本の島根県・竹島や慰安婦問題で、日本政府の姿勢を厳しく批判する姿勢を改めて示している。

平昌五輪開会式には主要各国首脳が欠席が続き、困る中、頭を下げて日本の安倍首相の出席を求めたにも拘らず、その後の状況が一変すると態度を翻して日本をスケープゴートにする、韓国人の行動様式の中にしばしば見られる、

「ヌンチを見る=情勢を見ながら生き抜く」

姿勢を示す文大統領に義はないと筆者は見る。

## 11. 化粧品輸出について

韓国の化粧品の輸出額全体に於ける中国本土向け輸出の比率は約40%と依然として高い。

しかし、昨年米国の最新鋭地上配備型迎撃システム「高度防衛ミサイル（THAAD）」の在韓米軍配備に反対する中国本土の報復措置で打撃を受けた化粧品業界は、これまで大きな輸出先とはなっていなかったアフリカ、中南米、ロシアなどの新興市場向けの輸出拡大戦略を進めている。

そして、最近は特にイスラム圏で韓国の化粧品は人気となっている。

今後の動向をフォローしたい。

## 【トピックス】

音楽通ではない私も、「アルルの女」という作品を知っています。

読者の皆様もご存知のことと思います。

この、「アルルの女」は、ドーデの短編小説を上演するためビゼーが1872年に全27曲を作曲しており、ここから編まれた2つの組曲が広く知られるようになり、私でも、これを知ることとなりました。

そもそも、ドーデの小説は、南フランス豪農の息子・フレデリが、アルルの闘牛場で見かけた女性に心を奪われてしまうところから始まります。

フレデリにはヴィヴェットという許嫁がいますが、彼女の献身的な愛もフレデリを基には戻せず、日に日に衰えていく息子を見て、フレデリの母はアルルの女との結婚を許すことにします。

そして、それを伝え聞いたヴィヴェットがフレデリの幸せの為ならと、身を退くことをフレデリの母に伝えます。

しかし、そのヴィヴェットの真心を知ったフレデリは、アルルの女を忘れてヴィヴェットと結婚することを決意します。

ところが、その2人の結婚式の夜、牧童頭のみティフィオなる男が現れて、今夜、アルルの女と駆け落ちすることを伝え、物陰からそれを聞いていたフレデリは突然、嫉妬に狂い、祝いの踊り・ファランドールが賑やかに踊られる中、機織り小屋の階上から身をおどらせて自ら命を絶つ。という恋愛もののこのお話であり、これが上演されて、世界的にも有名になったのであります。

そんなアルルの女のお話を先日、改めて、お聞きしました。

そして、音楽も改めて聞いてみました。

そこで、そもそもアルルとはと眺めてみると、

「アルルは、ローヌ川の分岐点に位置し、地中海に面する大湿地帯で、古来種の白馬がいて、その白馬を乗りこなす、“フランス版カウボーイ” ちもいるカマルグ地帯の大部分を含むフランスの市町村（コミューン）」

であります。

地中海性気候で、暑く乾燥した長い夏、穏やかな冬という対照的な季節がありますが、総じて、“太陽の光の輝く土地”として芸術家にも好まれる地であり、有名なところでは、ゴッホもこのアルルを題材とした絵を描いています。

そうした中で、フランスの友人に聞くと、このアルルは、“古代ローマ”と縁の深い都市と話します。

実際に、現在のアルルの都市の地下には古代ローマの遺跡があり、都市開発をすると、すぐに古代ローマの遺跡にぶつかると言われるほど、古代ローマと縁の深い都市のようです。

そもそも、アルルは紀元前6世紀頃ギリシア人によって"Theline"の名前で創設されたとされています。

そして、紀元前535年にケルト人の Salluvii によって占領され、彼は街の名前を "アレラーテ (Arelate)" (「湖(池、潟)の近く」の意味)に変更しました。

その後、ローマ人は紀元前123年に街を占領し、地中海に繋がる運河を紀元前104年に建設し、街を拡張して重要な都市としたことがアルルの発展の大きな契機となります。

その後、ローマのシーザーがポンペイウスと対峙した時、アルルはシーザーに付き、軍隊を派遣、シーザーの勝利が決定的になると、その後、アルルに拠点のあったローマ軍の第6軍団フェッラタの退役軍人のための植民市として発展したのであります。

古代ローマの植民市としての正式な肩書きは"コロニア・ユリア・パーテルナ・アレラテンシス・セクタンノールム、英語にすると"the ancestral Julian colony of Arles of the soldiers of the Sixth"「第6軍団の先祖伝来のアルルのユリウス植民地」であります。こうした背景から、アルルは古代ローマとの関係を持ちながら、発展したようです。

そして例えば、アルルには、コロッセオもあり、そこでは闘牛が行われていたようではありますが、今もアルルには闘牛を基にした文化が残っているのです。

今日はアルルの女から、アルルに思いを馳せてみました。

## 【今週の「街角のお話」シリーズ】

先日は電車の中で、孫に昔の話をしているおばあさんの姿を見かけました。

そういえば、昔、私の祖父母は私に、

「歳を取ると昔のことが昨日のことにように蘇ることがある。」

と言っていたことを思い出します。

そして、考えてみると、最近、私もしばしば夢の中で、昔のことを鮮明に思い出すことがあります。

そして、その殆どは、「野球の夢」であり、しかも、失敗したことばかりであります。

そうした夢の中で更に、私が何回か見る夢は、

「私が高校二年生の夏の大会、ベスト16の試合で、私たちの対戦相手は時々甲子園にも出場する



二松学舎大学付属高校。

鮮やかなグリーンを基調としたユニホームのチームです。

前半、リードされた我々は、中盤に三年生で四番・主将の先輩の鮮やかなヒットでノーアウト一塁、その後を受けて、私が、五番でバッターボックスに入りました。

ここで、ヒットを打てば一気に形勢が逆転するかもしれない、と私も皆も思いました。

そして、カウントはワンストライク、ツーボール。

絶好のチャンスです。

監督はすかさず、私にヒットエンドランのサイン。

一塁ランナーと私もそれを確認。

そして、バッターボックスで相手の投球を待つ私。

ピッチャー投げました。

私の大好きな外角の高め。

いつもなら、この球を右中間に放ち、長打、のはずでしたが、私は何故かバットが出ず、一塁ランナーの先輩は一・二塁間に挟まれ憤死、その後、私も凡打をして、チャンスはあっという間に潰れました。

試合はもちろん惨敗。」

先輩に本当に申し訳ない試合をしました。

私の思い出す過去のことはこうした失敗談ばかり、今でも赤面することばかりであります。辛いです。

だからこそ、過去の失敗を取り戻すべく、頑張らなければならないと思うことばかりです。

「失敗しても良いから、躊躇せず、がむしゃらに、遮二無二頑張る。

それで、失敗したら深く反省する。

躊躇せず行動し、それがたとえ失敗しても悔いは小さい。」

そうしたことを感じながら、昔のことを思い出すことが最近は本当に多くなりました。

## [英語で一言]

ここでは、英語を母国語としない私が英語を母国語としない多くの人々にも伝わるように、短文、平易な英単語を使って、気になる言葉、出来事を、短歌のように数行で示していくことを毎週トライするものであります。

またまた拙いコーナーの開始ですが、お付き合いください。

## Carrot and stick=飴と鞭

『アメとムチ』と言うフレーズは、こちらが望むような行動を相手にさせたいときに、報酬と罰の組合せを使って相手を揺さぶり、行動させると言うことを揶揄するものです。

そもそもは、荷馬車の御者が、馬車を引くのを嫌がるラバ(馬)の前にニンジンをおぼら下げて、一方では、棒・鞭でラバを叩くことによって、思い通りにそのラバを操ることを意味する言葉であります。

現実の社会に置き換えて見ると、ニンジンは1つの国からもう一つへの経済援助の見込みであるかもしれませんが、一方、鞭は軍事行動の脅威であるかもしれません。

今の国際社会は、飴と鞭で動いているかもしれません。

果たして、北朝鮮には飴と鞭が向けられるのでありましようか？

Carrot and stick=飴と鞭

The phrase 'carrot and stick' is a metaphor for the use of a combination of reward and punishment to induce a desired behavior.

It is based on the idea that a cart driver might activate a reluctant mule by dangling a carrot in front of it and smacking it on the rear with a stick.

The carrot might be a promise of economic aid from one nation to another, the stick might be a threat of military action.

In this sense, current world society can be said to be managed by the idea of carrot and stick.

And we are curious whether the strategy of "Carrot and Stick" will be taken or not.

### 〔主要経済指標〕

#### 1. 対米ドル為替相場

韓国：1米ドル／ 1, 078. 69 (前週対比+0. 88)

台湾：1米ドル／29. 28ニュー台湾ドル (前週対比-0. 02)

日本：1米ドル／105. 71円 (前週対比+1. 36)

中国本土：1米ドル／6. 3428人民元 (前週対-0. 0007)

#### 2. 株式動向

韓国 (ソウル総合指数)：2, 402. 16 (前週対比-49. 36)

台湾 (台北加権指数)：10, 698. 17 (前週対比-96. 38)

日本 (日経平均指数)：21, 181. 64 (前週対比-711. 14)

中国本土 (上海B)：3, 254. 528 (前週対比-14. 031)

以上

草の根の辻説法師を目指す

真田幸光